

おうちの図工室・美術室

とっておきの光を包む

対象学年 中学校 1年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

窓から差し込む光、朝のまぶしい光、雨の日にじわっと入り込む光、明日きつと差し込んでくるはずの光。いろんな光があなたの周りに満ちている光はたくさんありますね。その光は、その瞬間に生きているあなただから感じられた光です。どんなに素敵な光でも、これから先、全く同じ光を感じることはないかもしれません。

もし、あなたが感じた素敵な光をとっておけるとしたら、どんな入れ物がいいでしょうか。箱でも袋でも、包みでもなんでも構いません。

この先も、とっておきたいなと感じた光の入れ物を考えてみましょう。

- 実際に作るのが難しい人は、こんな入れ物にしたいなというアイデアをまとめてください。
- 作品の材料や大きさは自由です。アイデアを書く時も、何で描いても大丈夫です。
- 用紙の大きさや形は自由です。
- 文章で「どんな光なのか」や「なんでそう作ったのか」、「作ってみて、考えてみてどうだったか」なども教えてください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

自分の感じた光に合う、形や色、素材などを取捨選択することで、自分の感じ方を再認識するきっかけになることを期待しています。

深く見つめる

時間、場所や気候などによって多様な表情を見せる光を感じられることで、周りの環境や自然への感じ取り方が広がります。

三観点

知識・技能

光のイメージに基づいて、素材を選び、形や色に関する知識を活かしている。

思考・判断・表現

自分が感じた光から、形や色や素材を想像することができる。

主体的に学習に取り組む態度

色んな光から、自分なりの良さや美しさを感じ取ろうとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

日陰で一生懸命に
生きている芽に
そっと届けたい

やさしく
つよい光は
エネルギーを
くれる



「 はじまりの光 」

新しい一日の
はじまりを
告げる朝の光

使用した材料・道具

色画用紙、和紙、ステープラー、
ボンド、ペン



眠たい目をこすりながら、カーテンを開けると、新しい一日のはじまりを告げる朝の光がやさしく、そして強く部屋の中に入り込んできます。その光を浴びることで、今日も一日頑張ろうと、エネルギーをくれます。朝の爽やかで、これから何がはじまるのか、それはまるで、新しい芽が生えてきて、一生懸命に太陽の光を浴びようとしている姿が思い浮かびました。新芽の爽やかな黄緑を使い、これから生まれてくる新しい命を卵からかえるような形で表しました。光にかざして、卵が割れたところから覗いて見ると、画用紙が重なったところが濃く見え、新芽があらわれます。

もし、この光をつつむことができたなら、日陰でも一生懸命に生きている芽にそっと届けたいなと思いました。